

会 議 録

会 議 名	第 2 0 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 1 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 1 年 7 月 7 日 (火) 午前 9 時 30 分から正午		
開 催 場 所	公民館貫井南分館集会室		
出 席 委 員	安部まり子委員、伊藤清委員、瀬上ゆき委員、妻木誠二委員、		
欠 席 委 員	松浦妙子委員、		
事 務 局 員	松本浩明主査、渡邊正志、山崎光昭		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	1 名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 公民館運営審議会 (6 月 2 9 日開催) の報告 2 公民館研究大会について 3 企画実行委員の追加募集について 4 各講座の報告と計画 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画講座「薬と食品のたべあわせ」、国際交流イベント「七夕まつり」、高齢者学級「けやき学級」、市民講座、成人学校 5 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・次回の日程について 平成 2 1 年 8 月 4 日 (火) 午後 3 時予定 		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（6月29日開催）の報告

報告事項

(1) 東京都公民館研究大会企画委員について

6月19日（金）に3回目開催。大会開催趣旨文の事務局案とまちだ中央公民館の職員案を検討し、職員案をベースに検討することを決め、次回にまとめることを確認した。開催要項は8月末までに完成させる予定。後半は、各課題別に分かれ討議した。次回は7月17日（金）。

(2) 公民館運営審議会委員部会運営委員会について

委員部会研修会を7月18日（土）午後2時から4時30分に稲城市城山公民館で開催。小金井市公民館運営審議会からは長田委員が出席する。

(3) 各館事業の報告について

貫井南分館は、「第26回貫井南センターまつり」と成人学校「植物観察・箱根湿生花園」の2件を報告。質疑なし。

審議事項

(1) 各館の計画について

本館は、9月上映の市民映画会「猿倉人形芝居」では、制作と演出をした高橋千代さんを囲んでトークを行う。本町分館の成人学校では、小金井市にまつわる歴史を学び、再発見することを目的に7月8、9日に「小金井の歴史を知ろう」を行う。

(2) 第29期公民館運営審議会委員のまとめについて

大橋委員長がたたき台を作成し、今後、意見を聞きながら9月にまとめる。

(3) 来年度の重点項目について

今回は公民館運営審議会が主導で行う。

○公民館のホームページの充実 ○保育士を手伝うノウハウ講座 ○気軽に集える場所としてオープンスペースがあると良い。 ○利用懇談会を開催して、利用者の意見を聞いてもらいたい。 ○公民館利用団体を講座で支援できないか。 ○社会教育法改正での評価をどう考えるか、勉強会を開いてみてはどうか。

(4) 三者懇談会

公民館運営審議会、社会教育委員の会議、図書館運営協議会合同の会議を来年度から年2回行う。1回は有償、1回は無償とし、議事録は要点筆記とする。

2 公民館研究大会について

第3回目の6月19日（金）では、大会開催趣旨文を検討した。事務局案とまちだ中央公民館の職員案のいずれかをベースに考えるか。結果、職員案をベースにすることに決めた。開催要項は8月末で完成させる。会場のレイアウトを固めておく必要がある。課題別によっては、参加人数が多いところと少ないところが出る。次回は7月17日（金）、大会開催趣旨文の確定をする。

3 企画実行委員の追加募集について

委嘱状の伝達は、7月15日（水）午後2時から貫井南公民館で行う。任期は7月15日から平成22年7月20日。

4 各講座の報告と計画

○男女共同参画講座「薬と食品の食べあわせ」

6月5日～26までの午前10時から正午で4回行った。定員30員のところ、応募は31人（内男性は4人）。述べ人数91人となった。各回平均23人位の参加状況であった。参加者の感想は日頃食べていた納豆やジュース等が飲んでいる薬に影響があることを知って驚いた。参加者の反応は概ね面白かったとの感想を寄せてくれた。講師の先生も、一般市民相手の講義は今回が初めてだったので良い経験ができたと言っていた。

○国際交流イベント「七夕まつり」

7月5日（日）の午後1時から4時に行った。参加者は外国の方含め60人以上となり、かなり盛大なものとなった。参加者で浴衣をもっていない方には、12時30分から浴衣の着付けをし、折り紙の指導を受け、短冊の飾り付けをした。午後2時から七夕の紙芝居を外国の方2名に読んでいただいた。続いて、こま回し、コーラス、カントリーミュージック、日本民謡、花笠踊りとメニューは盛り沢山であった。最後は一本締めと記念撮影で終わった。参加した外国人の国籍は、中国、ベトナム、フィリピン、タイ、イラン、インドネシア、アメリカであった。企画実行委員の安部さんが司会進行を行った。単なるおまつりにはしたくなかった。日本人にとっても伝統行事を見直すことも狙いの一つであった。今後の国際交流イベントとしては、冬に初釜を行う予定である。

○高齢者学級「けやき学級」

7月1日（水）に班活動を行い、次回の7月10日（金）は「音楽」となる。第1部は講師の先生による歌とピアノの連弾を聴いた後に皆さんで歌を歌う。第2部は、久石譲の世界と題して、おくりびとのテーマをピアノで弾いてもらい、その後、再度皆さんで歌うことになる。7月は16日（木）に明治大学文学部教授の山田朗さんによる「歴史」、23日（木）に廣野医院の先生による「健康講話」、29日（水）に懇親会を予定している。懇親会での事前に用意するものがある。8月は休みとなり、9月に入ると野外活動として2班ごとに9月9日（水）と16日に行うが、8月19日（水）に軽自動車で実踏へ行くこととする。同じく10月の21日（水）と28日（水）に江戸東京博物館（墨田区）へ行くが、その期間の特別企画は何か、また、交通機関はどうするのか確認しておく。電車で行くとすれば三鷹駅で乗り換えるか、お茶の水で乗り換えるか検討が必要。団体の割り引きがあるかの確認をする。

○市民講座

毎年、明治大学文学部教授の山田朗先生による「映像でつづる昭和史」も今年度行う。先生とは既に日程は、いずれも金曜日で10月16日、23日、30日、11月13日、20日午後6時から8時の5回で行う。テーマは「朝鮮戦争と日本」とする。資料は先生から事前に郵送される。

○成人学校

「江戸野菜」

7月13日(月)は収穫祭として公民館緑分館で、収穫した野菜を調理して食べることになる。男性は午前9時から収穫し、女性は午前10時から調理を行う。食べ始めは午前11時からとなる。事前に用意する物がある。

「あら不思議 子育てがラクチンになる講座」

前年度、本館の市民がつくる自主講座で評判が良かったため、元公民館職員の田山さんから企画を提案された。産前産後の母子をサポートし、引きこもり育児になりがちな時期に公民館の講座に参加することで社会との繋がりを保ち、仲間作りやグループ作りへと繋げていくことを目的とする。題名は「ちょっとのコツでこんなに便利！スリング使いこなし講座」と「コンニチハからサヨウナラまで、目からウロコのおっぱいのお話」。表題については今後検討が必要。また、募集人数については、スリング講座は12人位が限度といわれているが、交代で行えば増やしても可能と考えられる。期間は、9月25日(金)と10月2日(金)の2回となる。市報9月1日号となるので、原稿は8月初旬には完成させておく必要がある。

「国際理解」

東ドイツをテーマにして、講師にラース・シュマールさん(上智大学留学生)を招いて行う。期間は、いずれも土曜日の11月7・14・21日午前10時から正午まで。

5 その他

第3次行財政改革大綱について

公民館に関わることを簡単に説明。有料化についても収入の見込み等具体的な数字が示されないのが分かりづらい。公民館とカルチャーセンターの差を分かってもらいたい。小平市の施設にあるゆとりある空間があるような施設があればと思うが、小金井市の公民館施設は劣悪である。こういう問題こそ、公民館運営審議会で討議するべきであるという意見が出された。